

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

社会貢献、改革・成長、明朗・誠実・協力の3つを掲げ、情報通信ネットワークソリューション提供を通じて社会に貢献

② 中長期の経営戦略

1. マルチゲートウェイのアライアンス

スマートビルディング実現に向け、ゼネコン・キャリアとの関係強化。新築・既設ビルへの導入とパッケージソリューション展開

2. 利用料ビジネスの推進

かんだ光サービスや「こころ」、クラウドPBX、マルチゲートウェイなどの利用料ビジネスを拡大

3. 情報通信事業の事業変革

オンプレPBXからクラウド化へシフト。モノ売りからコト売りへの転換を進め、ソリューション創出に注力

4. 人的資本の強化

採用、教育投資を継続。従業員待遇改善と技術者スキル向上に取り組む

③ 対処すべき課題

① 外部環境への対応

- ・地政学リスク上昇と物価高による原材料値上げ・人件費上昇で収益性低下
- ・レガシーPBX市場のクラウドシフトによる既存事業の市場縮小

② 人材・労働力不足

- ・人材・労働力の継続的不足が課題。企業風土改善と人的資本投資を推進

③ 事業転換の遅れ

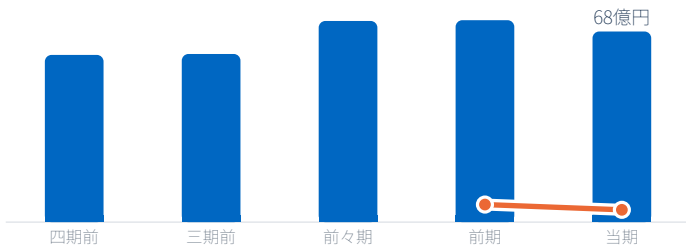
- ・情報通信事業でレガシーPBXが大部分を占め、成長分野へのシフトに遅れ
- ・照明制御事業で製品開発と利用料ビジネス構築が遅延

面接で使えるポイント

- ・IT×OT技術を活かしネットワーク機器を制御するエンジニアリング会社を目指す経営戦略
- ・マルチゲートウェイがスマートビルディング実現のゲートウェイとしてゼネコン・キャリアに選定された実績
- ・レガシーPBXからクラウド化への事業転換を進め、モノ売りからコト売りへ事業体質を変革

証券コード 1992

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
68億円営業利益率
6.5%財務健康度
61点／100点

将来性 曇り時々雨／就活偏差値 49.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
732万円

建設業内 93位/140社

平均年齢
44.6歳

建設業内 37位/140社

平均勤続
20.6年

建設業内 5位/140社

女性管理職
3.9%

建設業内 50位/112社

男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 神田通信機(株)【1992】：決算情報

